

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月13日

上場会社名 浅香工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 5962 URL <http://www.asaka-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳶田 長秋

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部本部長 (氏名) 藤田 敏雄

TEL 072-229-5137

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,719	△14.2	10	△80.9	22	△60.0	18	—
21年3月期第2四半期	4,335	—	55	—	56	—	△4	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1.87	—
21年3月期第2四半期	△0.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,265	2,169	41.1	216.58
21年3月期	5,062	2,160	42.6	215.65

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,163百万円 21年3月期 2,155百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△3.5	50	202.5	70	34.6	40	—	4.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【 定性的情報・財務諸表等 】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	10,370,800株	21年3月期	10,370,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	380,339株	21年3月期	377,051株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	9,991,900株	21年3月期第2四半期	10,350,749株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融危機の余波も若干弱まり、最悪の状態から脱した感もありますが、景気の回復感低位水準にとどまり、依然として厳しい状況のままに推移してまいりました。

このような情勢下におきまして、当社は積極的な営業活動を展開し、一層の拡販に努力をしてまいりましたが、当第2四半期累計期間の業績につきましては、各企業における設備投資の縮小や個人消費の冷え込みに加え市場における価格競合の激化等が大きく影響し、売上高は3,719百万円（前年同期4,335百万円）になりました。

利益面につきましては、コストの低減・諸経費の節減等、更なる収益体質の強化に努めました結果、営業利益は10百万円（前年同期55百万円）、経常利益は22百万円（前年同期56百万円）となり、当第2四半期累計期間の四半期純利益は18百万円（前年同期は4百万円の四半期純損失）となりました。

なお、品目別の業況は次のとおりであります。

(ショベル類)

国内向けにつきましては、一層の拡販に努力いたしましたが、需要の低迷にともなう販売激化と海外製品との価格競合もあって売上高は366百万円（対前年同期比12.1%減）にとどまりました。

輸出につきましては、円高等の影響もありましたが、新規販路の開拓や価格対応等、拡販に努力いたしました結果、売上高は64百万円（対前年同期比10.6%増）となり、ショベル類全体といたしましては、売上高は431百万円（対前年同期比9.3%減）となりました。

(アウトドア用品類)

新製品の投入等により拡販に努力いたしましたが、個人消費の低迷が影響し、売上高は1,138百万円（対前年同期比2.0%減）となりました。

(工事・農業用機器類)

土木建築関連の需要の低迷に加え、専門店での受注不振が影響して、売上高は1,172百万円（対前年同期比8.7%減）となりました。

(物流機器類)

業界内における景気動向は時を増すごとに悪化し、引き合い件数の減少に加え、熾烈な価格競合等もあって、売上高は976百万円（対前年同期比30.8%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

以下の記載内容は前事業年度末と比較しております。

(流動資産)

現金及び預金は21百万円減少し813百万円となりました。受取手形及び売掛金は225百万円増加し1,594百万円となりました。また、商品及び製品は38百万円減少し1,007百万円となりました。その結果、流動資産の残高は159百万円増加し3,956百万円（前事業年度末は3,796百万円）となりました。

(固定資産)

有形固定資産は21百万円減少し391百万円となりました。これは設備維持更新等に14百万円を投資したものの、減価償却費等で36百万円減少したことによるものであります。投資有価証券は30百万円増加し441百万円となりました。また、破産更正債権の一部回収に伴い貸倒引当金17百万円を取り崩したことにより、固定資産の残高は43百万円増加し1,309百万円（前事業年度末は1,266百万円）となりました。その結果、総資産合計は202百万円増加し5,265百万円（前事業年度末は5,062百万円）となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金は264百万円増加し1,552百万円となりました。短期借入金は18百万円増加し978百万円となりました。また、未払法人税等は29百万円減少し10百万円となりました。その結果、流動負債の残高は251百万円増加し2,754百万円（前事業年度末は2,502百万円）となりました。

(固定負債)

長期借入金は68百万円減少し143百万円となりました。退職給付引当金は10百万円増加し171百万円となりました。その結果、固定負債の残高は57百万円減少し341百万円（前事業年度末は398百万円）となりました。

(純資産)

その他有価証券評価差額金は13百万円増加し△51百万円となりました。繰延ヘッジ損益は3百万円減少し△8百万円となりました。その結果、純資産合計は8百万円増加し2,169百万円（前事業年度末は2,160百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて16百万円減少し、当第2四半期会計期間末には729百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、71百万円（前年同期は47百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加額が235百万円となったものの、税引前四半期純利益と仕入債務の増加額及び、たな卸資産の減少額の合計が337百万円となったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18百万円（前年同期は95百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出と有形固定資産の取得による支出の合計11百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、69百万円（前年同期は92百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出99百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の状況を踏まえて、平成22年3月期の業績予想に関する事項につきまして修正をいたしました。

なお、詳細につきましては、平成21年10月16日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,359	834,493
受取手形及び売掛金	1,594,520	1,369,038
商品及び製品	1,007,846	1,045,855
仕掛品	27,851	29,819
原材料及び貯蔵品	118,482	116,170
未収入金	350,889	341,487
その他	53,233	71,048
貸倒引当金	△10,110	△11,120
流動資産合計	3,956,072	3,796,793
固定資産		
有形固定資産	391,289	413,064
無形固定資産	34,031	38,282
投資その他の資産		
投資有価証券	441,386	410,675
その他	490,473	469,559
貸倒引当金	△48,081	△65,580
投資その他の資産合計	883,778	814,654
固定資産合計	1,309,098	1,266,001
資産合計	5,265,170	5,062,795
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,552,072	1,287,890
短期借入金	978,108	959,180
未払法人税等	10,121	39,229
賞与引当金	47,400	41,900
その他	166,983	174,746
流動負債合計	2,754,686	2,502,947
固定負債		
長期借入金	143,563	212,065
退職給付引当金	171,600	161,000
その他	25,861	25,861
固定負債合計	341,024	398,926
負債合計	3,095,710	2,901,873

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,600	829,600
資本剰余金	509,408	509,408
利益剰余金	918,411	919,721
自己株式	△33,801	△33,512
株主資本合計	2,223,618	2,225,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△51,003	△64,926
繰延ヘッジ損益	△8,874	△5,089
評価・換算差額等合計	△59,878	△70,016
新株予約権	5,720	5,720
純資産合計	2,169,460	2,160,922
負債純資産合計	5,265,170	5,062,795

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,335,613	3,719,997
売上原価	3,274,736	2,788,418
売上総利益	1,060,877	931,579
販売費及び一般管理費	1,005,246	920,926
営業利益	55,630	10,652
営業外収益		
受取配当金	7,341	3,594
受取保険金	—	14,290
その他	9,695	8,086
営業外収益合計	17,037	25,971
営業外費用		
支払利息	9,971	9,622
手形売却損	4,346	3,351
その他	2,067	1,114
営業外費用合計	16,385	14,088
経常利益	56,282	22,534
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	18,404
特別利益合計	—	18,404
特別損失		
貸倒引当金繰入額	53,968	—
特別損失合計	53,968	—
税引前四半期純利益	2,313	40,938
法人税、住民税及び事業税	9,000	5,000
法人税等調整額	△2,090	17,261
法人税等合計	6,909	22,261
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,596	18,677

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,313	40,938
減価償却費	32,859	40,396
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,900	10,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,300	5,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62,513	△18,508
受取利息及び受取配当金	△8,170	△5,813
支払利息	9,971	9,622
売上債権の増減額 (△は増加)	△236,956	△235,444
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,576	37,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	244,167	259,103
その他	△18,627	△34,625
小計	54,893	109,436
利息及び配当金の受取額	8,188	5,862
利息の支払額	△9,956	△9,584
法人税等の支払額	△5,400	△33,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,725	71,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,936	△22,426
定期預金の払戻による収入	25,293	26,928
投資有価証券の取得による支出	△86,389	△3,369
有形固定資産の取得による支出	△10,246	△8,135
保険積立金の解約による収入	5,032	14,290
その他	△8,952	△25,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,198	△18,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	50,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△59,926	△99,574
自己株式の取得による支出	△1,489	△289
配当金の支払額	△31,062	△19,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,478	△69,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△139,951	△16,633
現金及び現金同等物の期首残高	812,266	746,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	672,314	729,922

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(売上高内訳)

(千円未満切捨)

期 別	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)			当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)			増 減		
	品 種 別	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	率		
シ ョ ー ベ ル 類	国 内	千円 417,510	% 87.7	% %	千円 366,977	% 85.0	% %	千円 △50,533	% △12.1
	輸 出	58,393	12.3		64,608	15.0		6,215	10.6
	小 計	475,904	100.0	11.0	431,586	100.0	11.6	△44,317	△9.3
ア ウ ト ド ア 類	国 内	1,157,219	99.5		1,132,716	99.5		△24,503	△2.1
	輸 出	5,298	0.5		5,995	0.5		696	13.1
	小 計	1,162,518	100.0	26.8	1,138,711	100.0	30.6	△23,806	△2.0
工 用 事 機 ・ 器 農 業 類	国 内	1,273,622	99.1		1,165,126	99.3		△108,495	△8.5
	輸 出	11,476	0.9		7,776	0.7		△3,700	△32.2
	小 計	1,285,098	100.0	29.6	1,172,902	100.0	31.5	△112,196	△8.7
物 流 機 器 類	国 内	1,412,092	100.0		976,797	100.0		△435,294	△30.8
	輸 出	—	—		—	—		—	—
	小 計	1,412,092	100.0	32.6	976,797	100.0	26.3	△435,294	△30.8
合 計	国 内	4,260,444	98.3		3,641,617	97.9		△618,827	△14.5
	輸 出	75,168	1.7		78,380	2.1		3,211	4.3
	合 計	4,335,613	100.0	100.0	3,719,997	100.0	100.0	△615,615	△14.2